

令和3年度版

当別町農林業の動向

当別町

目 次

令和3年度版 当別町農林業の動向

	ページ数
1 耕地面積	1
2 農家戸数、認定農業者、認定新規就農者数及び 農地所有適格法人数	2
3 水稲作付面積及び転作実施面積	3～4
4 水稲作付面積	
(1) 品種別	5
(2) 用途別	6
5 米の等級別出荷数量実績	7
6 小麦作付面積（春秋別）	8
7 転作作物（野菜部門）の作付面積	9
8 花き生産の概要	
(1) 主要品目の出荷数量	10
(2) 主要品目の販売額	11
9 家畜飼養状況	12～13
10 農業産出額の状況（農林水産省推計値）	14
11 鳥獣被害の状況	15～16
12 民有林資源構成表	17
13 森林面積及び蓄積	17

当別町の紹介



当別町の始まりは、明治4年、仙台藩岩出山の領主・伊達邦直公が家臣共々移住し、苦難の開拓の歴史を経て、明治35年頃には札幌支庁管内（当時）で最も豊かな農村へと発展し、農業を基幹産業とした本町の礎が築かれました。

現在、当別町は北海道最大の都市札幌市に隣接し、札幌都心部からJRで約35分、車で約45分とアクセスに優れ、札幌への通勤通学圏内であると同時に石狩湾新港と新千歳空港を結ぶ国道337号と、道北方面に通じる国道275号が交差する交通の要衝でもあります。

当別町の行政面積は42,286haとなっています。令和2年度の耕地面積は、8,520haと約20%を占めています。

当別町の大地は、豊かな水と石狩平野の一部という恵まれた土地条件を生かした水田・畑作や花卉を中心とする農業を展開しているのが特徴です。

1 耕地面積

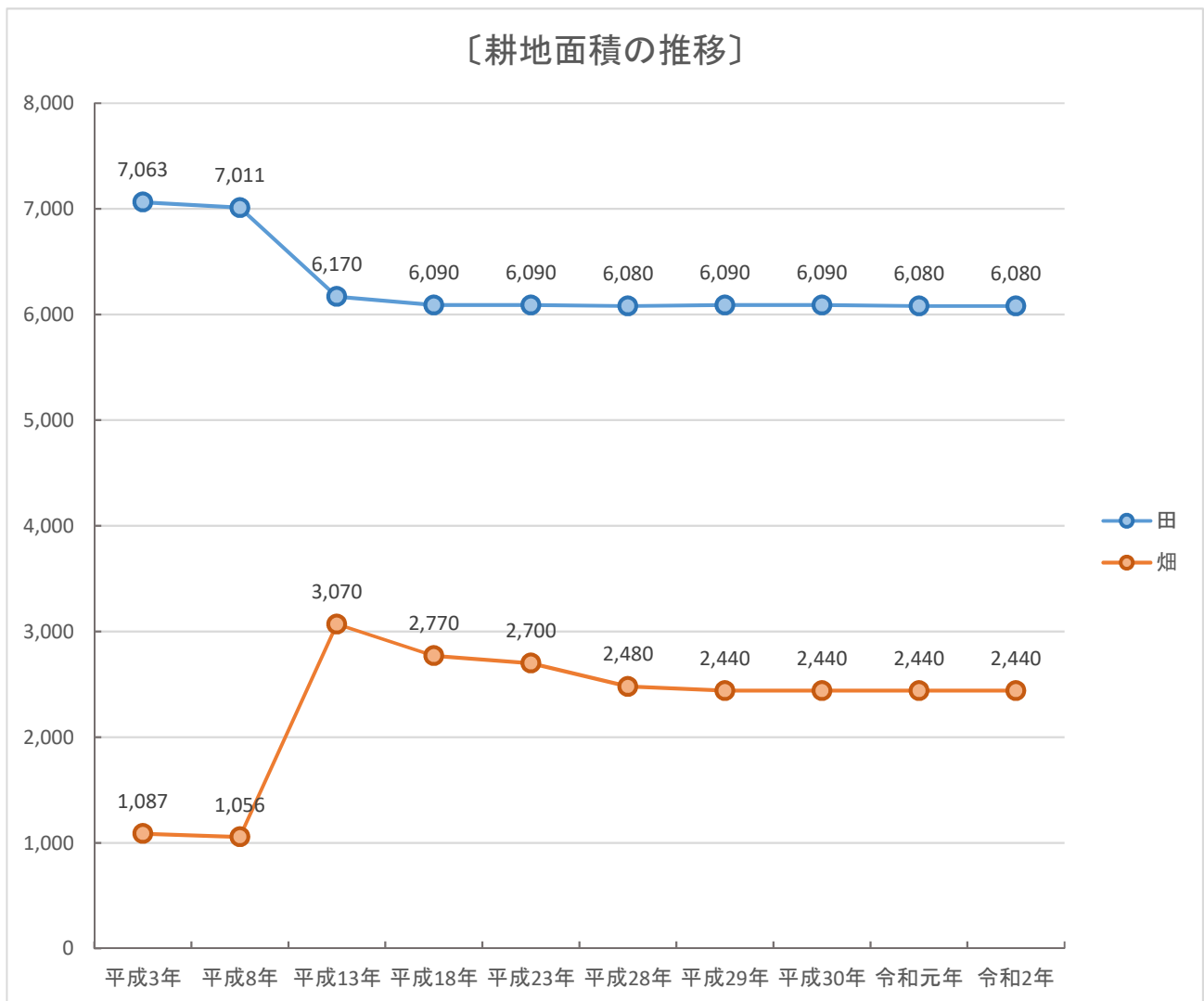
単位: ha

年度 区分	平成3年	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
耕地面積	8,150	8,067	9,240	8,860	8,780	8,560	8,530	8,530	8,520	8,520
田	7,063	7,011	6,170	6,090	6,090	6,080	6,090	6,090	6,080	6,080
畑	1,087	1,056	3,070	2,770	2,700	2,480	2,440	2,440	2,440	2,440

資料: 農林水産統計年報 平成2年度: 農林業センサス 平成3年～平成12年度: 農業基本調査

畑: 普通畑、樹園地、牧草畑

※数値は、端数処理のため、合計と内訳の計が一致しないことがあります。



当別町の耕地面積は8,520haで、そのうち70%は田となっています。

2 農家戸数、認定農業者、認定新規就農者数及び農地所有適格法人数

(1) 農家戸数及び農家1戸当り耕地面積

単位：戸・ha

年度	平成3年	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
戸数	1,138	1,085	961	764	603	528	506	498	483	475
農家1戸当り 耕地面積	7.2	7.4	9.6	11.6	14.6	16.2	16.9	17.1	17.6	17.9

資料 町農務課

(2) 認定農業者数及び認定新規就農者数

単位：戸・人

年度	平成3年	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
認定農業者	-	49	95	372	373	371	371	346	335	322
うち法人	-	9	16	37	43	43	40	39	40	40
うち女性	-	1	2	9	6	11	9	6	9	6
うち共同	-	0	0	29	54	59	52	53	46	39
認定新規 就農者数	-	-	-	2	3	10	10	8	7	6

資料 町農務課

※農業経営基盤強化促進法に基づく認定新規就農者数(認定期間:5か年の延べ人数)

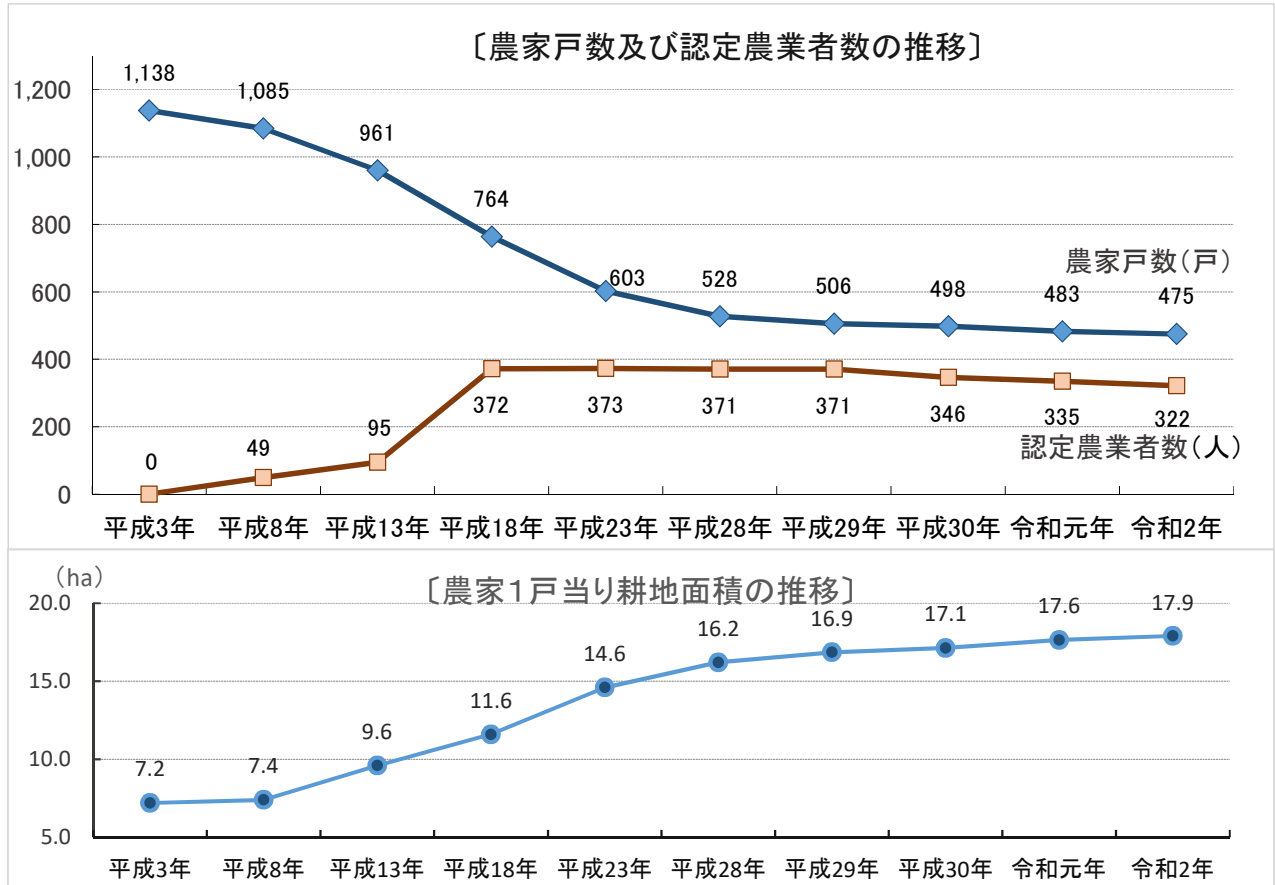
※空白はデータなし

(3) 農地所有適格法人数

年度	平成3年	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
農地所有適格法人	-	-	-	-	-	43	44	44	46	47

資料 町農務課

※農地所有適格法人は、平成28年4月1日施行の改正農地法に基づき定義された。



当別町の農家戸数は減少傾向にあり、令和2年度は475戸となっています。このうち認定農業者は、322戸に減少しています。

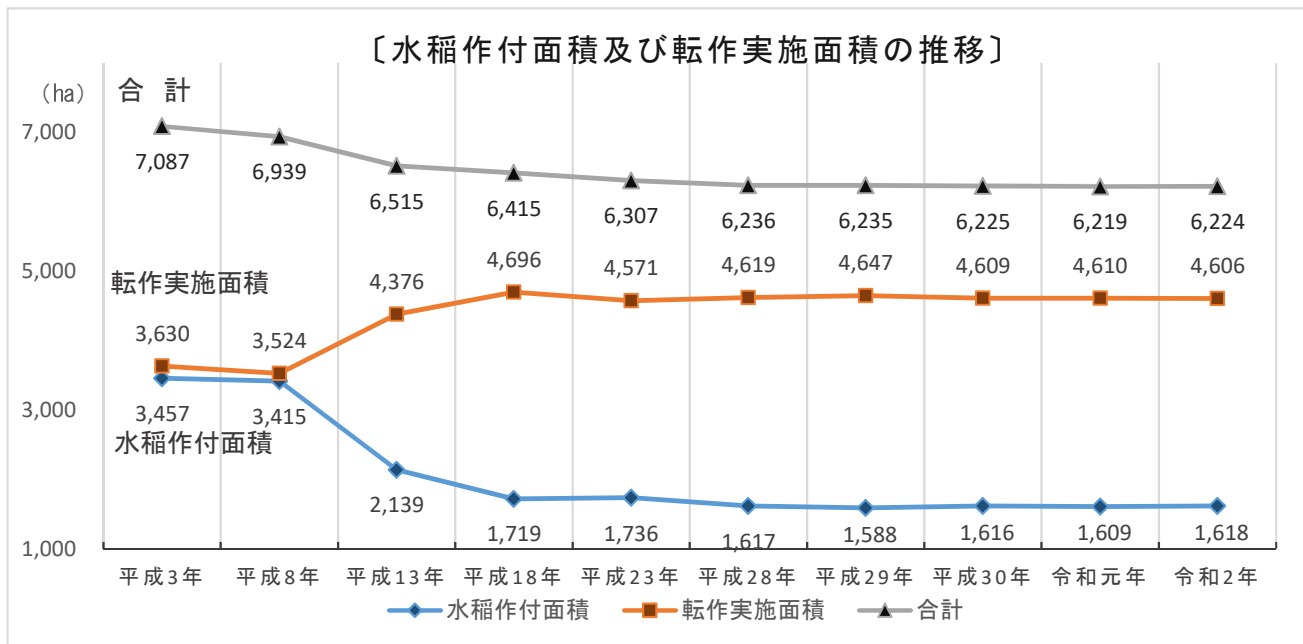
また、農家1戸当たりの耕地面積は、令和2年度は17.9haと平成13年度(20年前)の約2倍になっています。

3 水稲作付面積及び転作実施面積

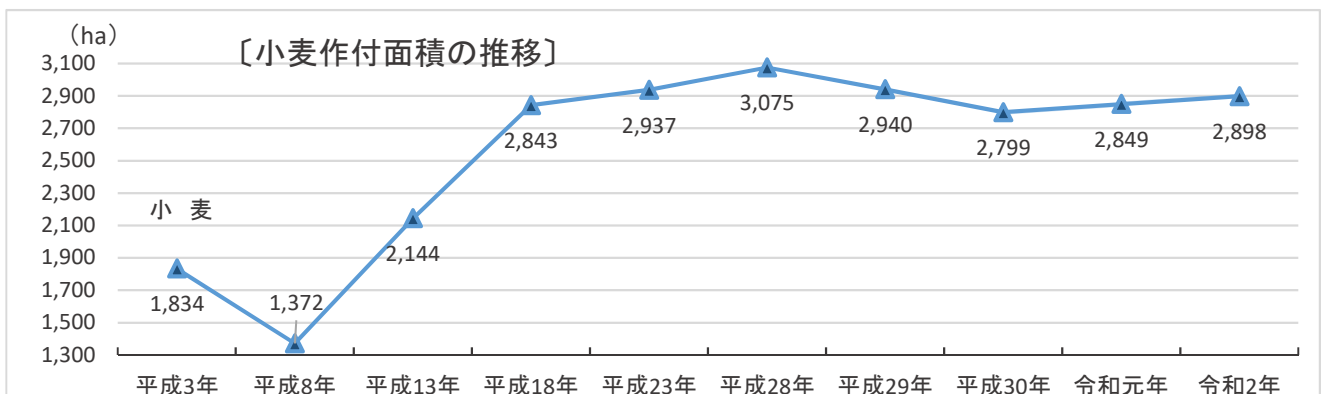
単位:ha

区分 年度	水稲作付面積		転作実施面積	転作作付面積内訳(新規需要米等を除く)								
		うち主食用		小麦	大豆	小豆	てん菜	野菜	花き	牧草等	子実とうもろこし	その他
平成3年	3,457	-	3,630	1,834	373	373	-	-	40	720	-	290
平成8年	3,415	-	3,524	1,372	265	566	47	-	78	789	-	407
平成13年	2,139	-	4,376	2,144	692	451	19	-	73	611	-	386
平成18年	1,719	1,719	4,696	2,843	622	305	32	178	75	572	-	69
平成23年	1,736	1,674	4,571	2,937	502	225	29	229	84	531	-	34
平成28年	1,617	1,556	4,619	3,075	485	50	37	216	72	641	2	40
平成29年	1,588	1,547	4,647	2,940	544	47	63	247	74	647	20	65
平成30年	1,616	1,564	4,609	2,799	576	58	63	277	74	660	40	63
令和元年	1,609	1,542	4,610	2,849	509	63	50	289	69	667	48	67
令和2年	1,618	1,542	4,606	2,898	478	61	53	274	68	653	57	64

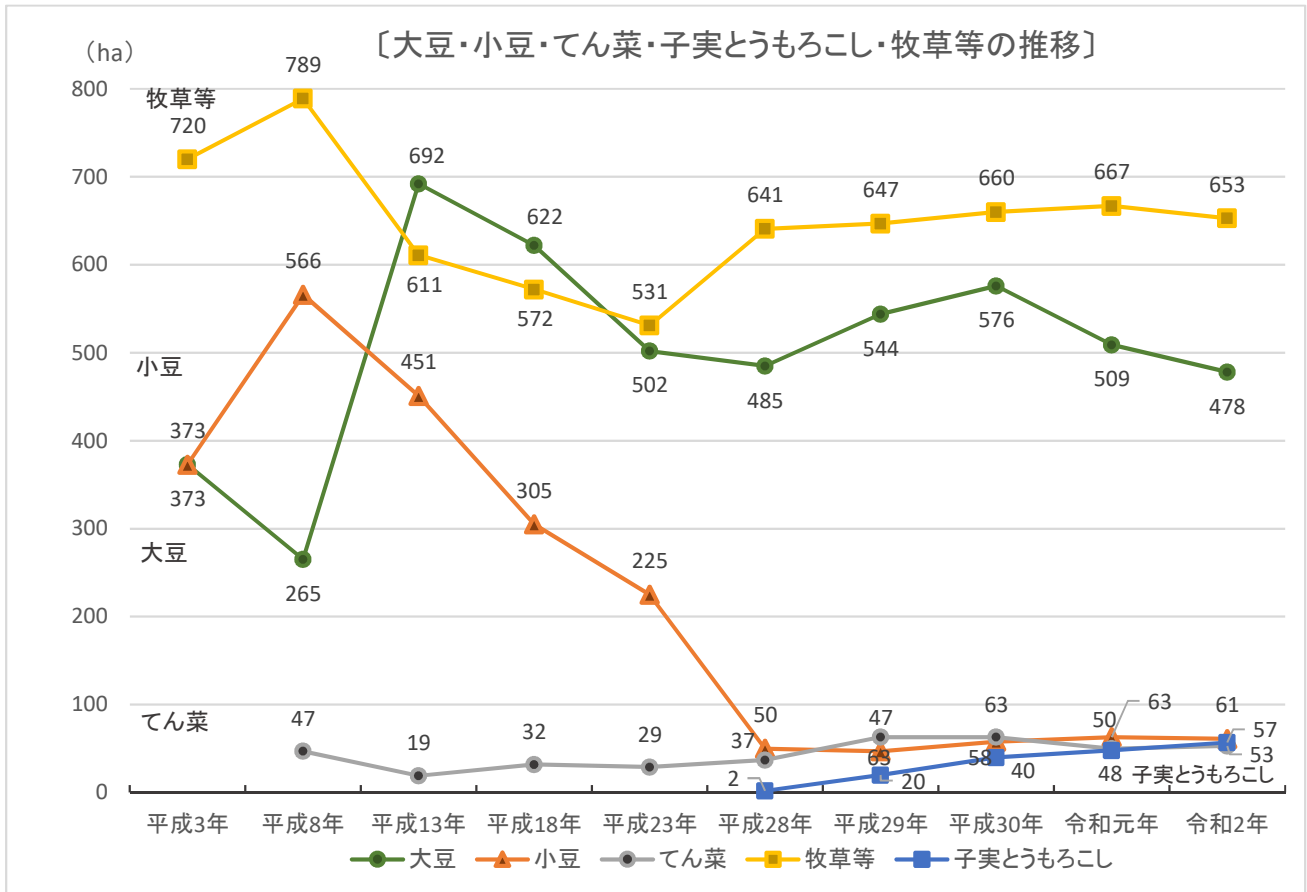
資料:町農務課



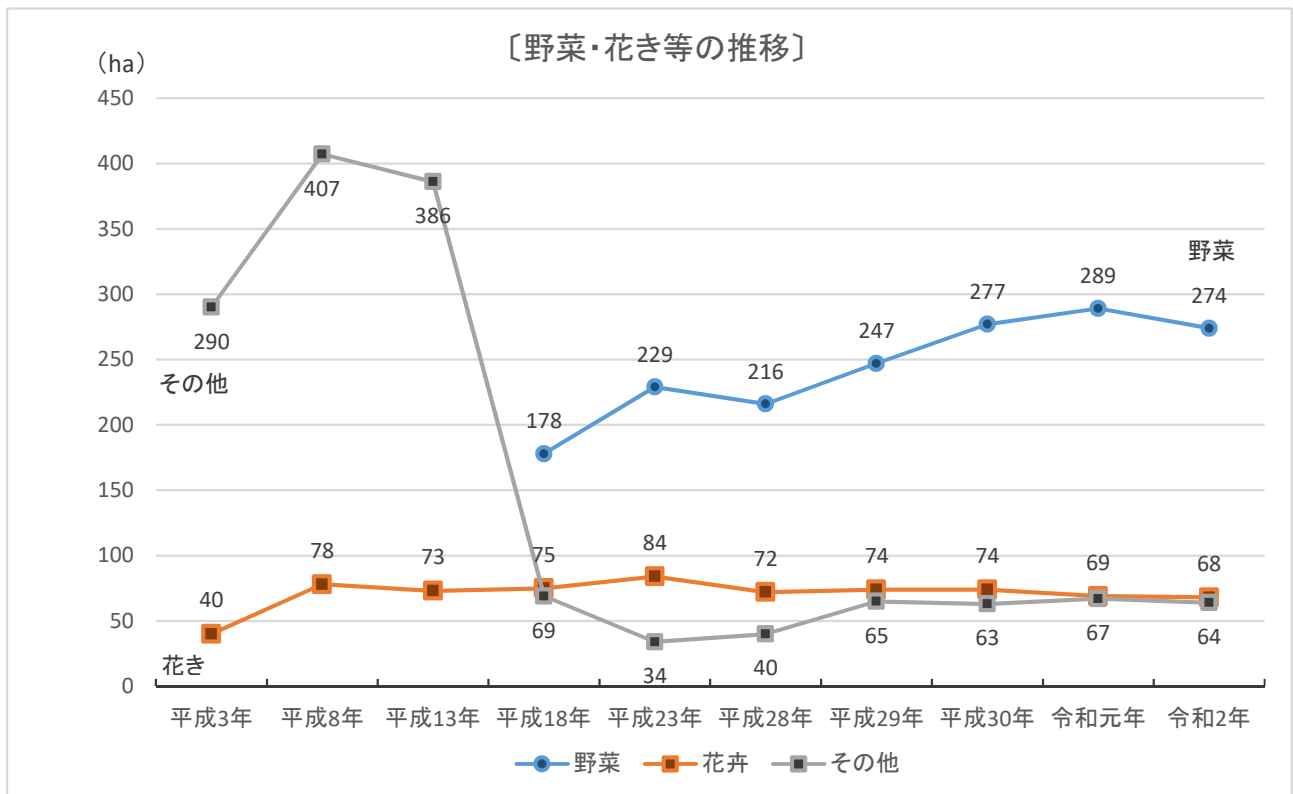
当別町の転作実施面積は、平成14年度以降約4,600haとなっています。



当別町の転作実施面積のうち小麦作付面積は、平成30年度から若干の増加となっています。



当別町の転作作付面積のうち、子実とうもろこしは増加傾向にあり、大豆は平成30年度から減少傾向となっています。小豆の作付面積は、平成27年度まで減少傾向にありましたが、平成28年度以降は、やや増加傾向となっています。



また、野菜の作付面積は平成17年度からのデータで、おおむね増加傾向となっていますが、令和2年度は若干減少しています。この要因は、ブロッコリーの増加に対し、かぼちゃ、キャベツ、アスパラの作付面積が減少したことによります。花きの面積の算定方法は、平成27年度から変更となっています。

4 水稻作付面積

(1) 品種別

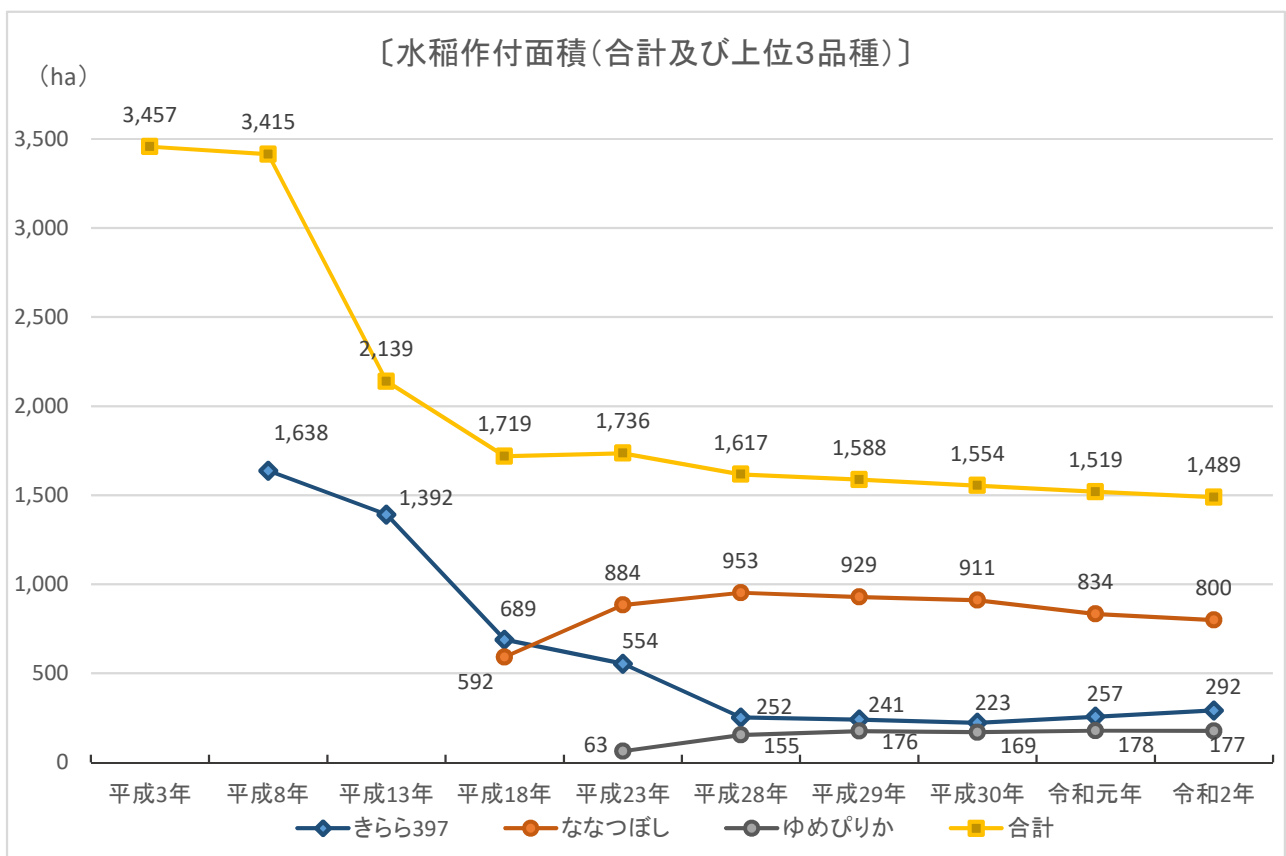
単位: ha

品種 年産	きらら397		ななつぼし		ほしのゆめ		おぼろづき		ゆめぴりか		あやひめ		その他		合計
平成3年															3,457
平成8年	1,638	48%			9	0%							1,768	52%	3,415
平成13年	1,392	65%			432	20%							315	15%	2,139
平成18年	689	40%	592	34%	198	12%	87	5%			75	4%	78	5%	1,719
平成23年	554	32%	884	51%	55	3%	120	7%	63	4%	23	1%	37	2%	1,736
平成28年	252	16%	953	59%	7	0%	113	7%	155	10%	12	1%	126	8%	1,617
平成29年	241	15%	929	59%	7	0%	90	6%	176	11%	4	0%	140	9%	1,588
平成30年	223	14%	911	59%	6	0%	91	6%	169	11%	5	0%	149	10%	1,554
令和元年	257	17%	834	55%	5	0%	87	6%	178	12%			158	10%	1,519
令和2年	292	20%	800	54%	11	1%	69	5%	177	12%			140	9%	1,489

資料: 町農務課

※加工用米及び新規需要米含む。

※空白はデータなし



当別町の水稲作付面積は、平成に入り、平成6年3,993haのピークから減少に転じ、令和2年は、1,489haとなっています。

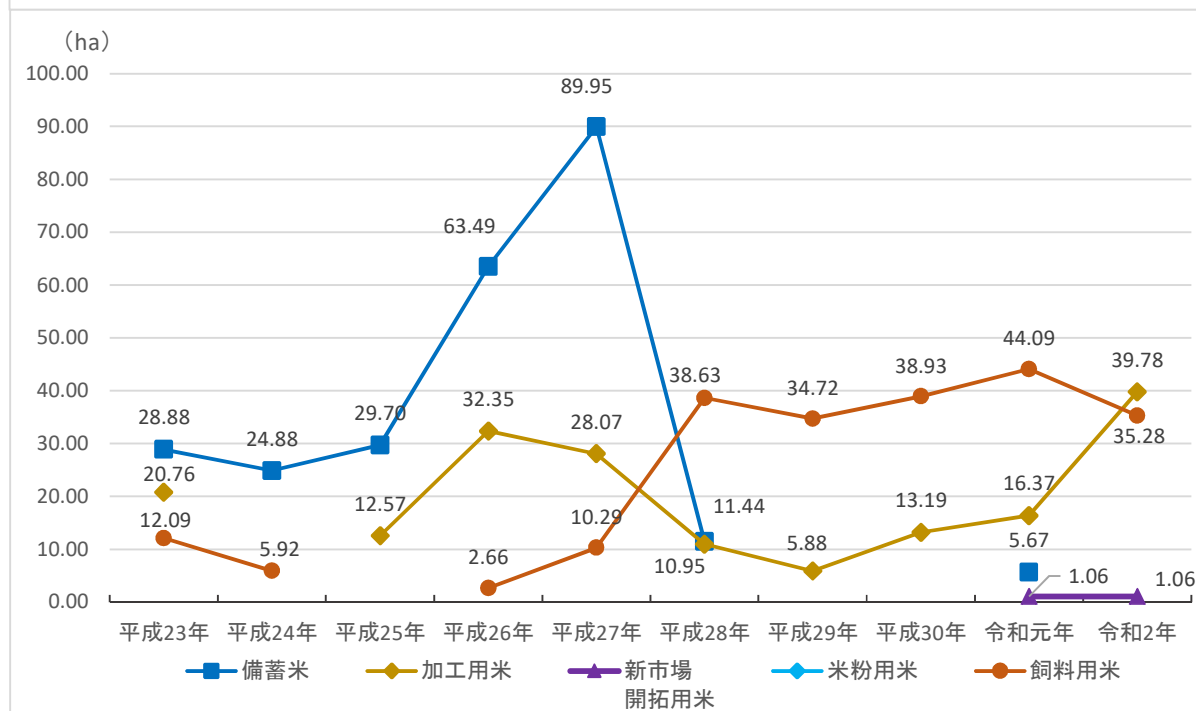
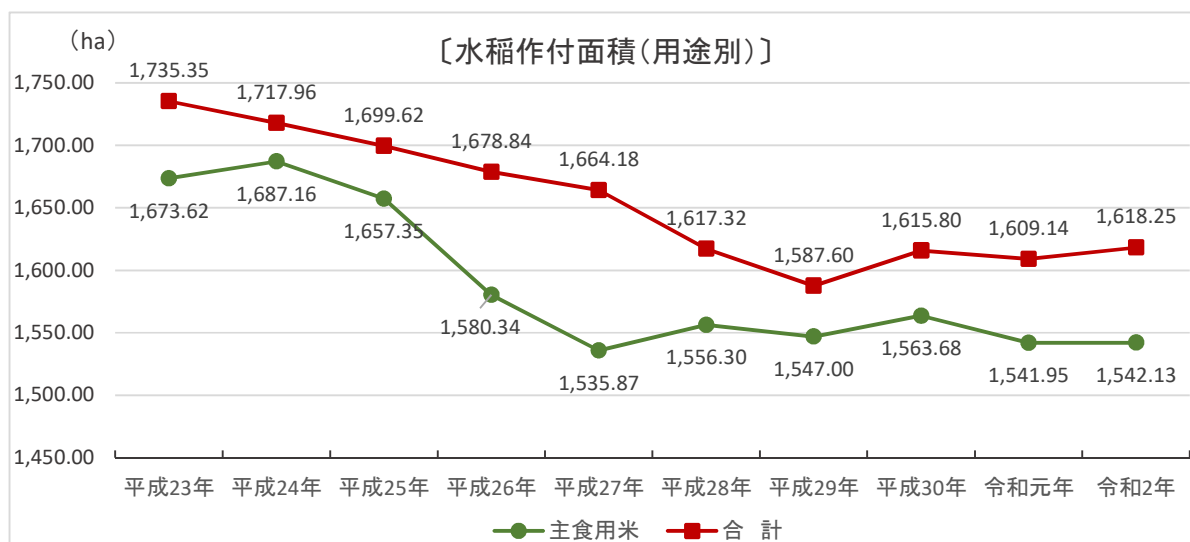
4 水稻作付面積

(2) 用途別

単位: ha

年産 区分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
主食用米	1,673.62	1,687.16	1,657.35	1,580.34	1,535.87	1,556.30	1,547.00	1,563.68	1,541.95	1,542.13
備蓄米	28.88	24.88	29.70	63.49	89.95	11.44			5.67	
加工用米	20.76		12.57	32.35	28.07	10.95	5.88	13.19	16.37	39.78
新市場 開拓用米									1.06	1.06
米粉用米										
飼料用米	12.09	5.92		2.66	10.29	38.63	34.72	38.93	44.09	35.28
合計	1,735.35	1,717.96	1,699.62	1,678.84	1,664.18	1,617.32	1,587.60	1,615.80	1,609.14	1,618.25

資料: 町農務課 ※空白は、作付面積無し

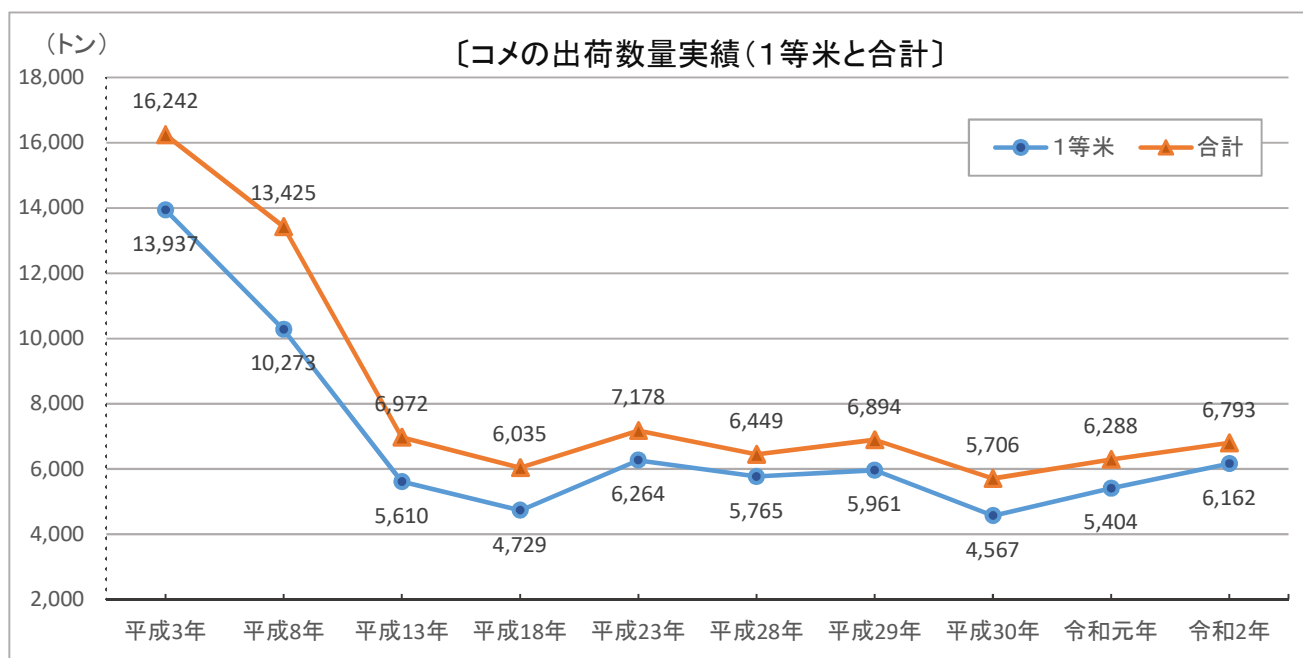


5 米の等級別出荷数量実績

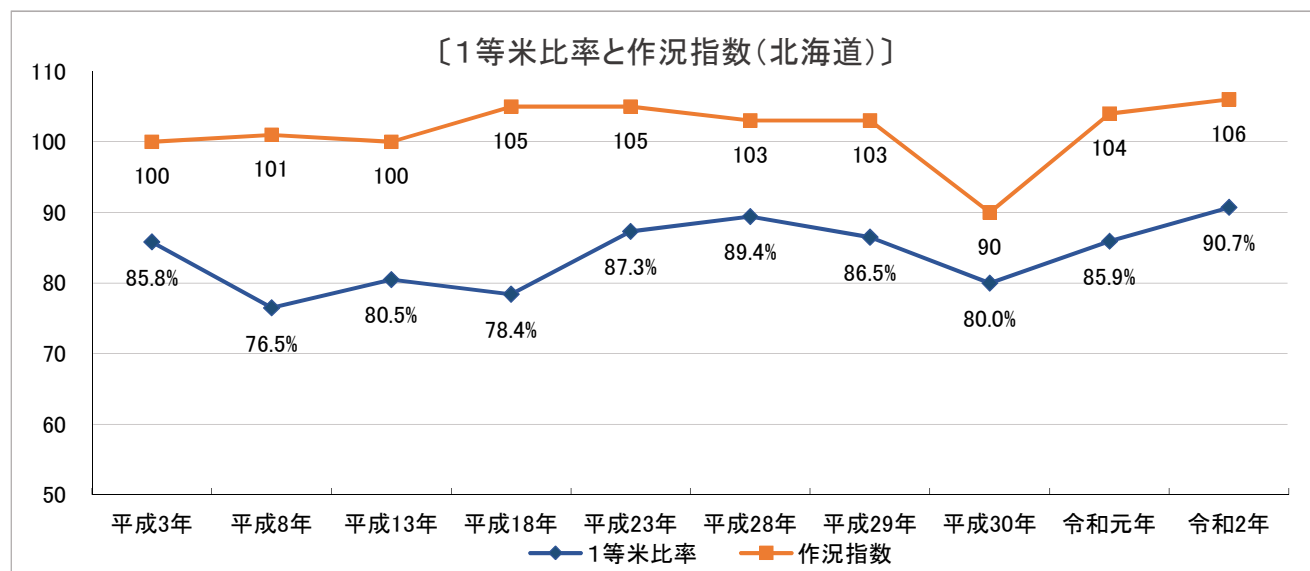
単位:t

年産	1等米		2等		3等		規格外		合計	作況指数 (北海道)
	数量	比率	数量	比率	数量	比率	数量	比率		
平成3年	13,937	85.8%	2,069	12.7%	237	1.5%	0	0.0%	16,242	100
平成8年	10,273	76.5%	3,019	22.5%	134	1.0%	0	0.0%	13,425	101
平成13年	5,610	80.5%	387	5.0%	0	0.0%	976	14.0%	6,972	100
平成18年	4,729	78.4%	1,306	21.6%	0	0.0%	0	0.0%	6,035	105
平成23年	6,264	87.3%	46	0.6%	6	0.1%	861	12.0%	7,178	105
平成28年	5,765	89.4%	34	0.5%	0	0.0%	650	10.1%	6,449	103
平成29年	5,961	86.5%	128	1.9%	0	0.0%	805	11.6%	6,894	103
平成30年	4,567	80.0%	146	2.6%	8	0.1%	985	17.3%	5,706	90
令和元年	5,404	86.0%	128	2.0%	21	0.3%	735	11.7%	6,288	104
令和2年	6,162	90.7%	81	1.2%	1	0.0%	549	8.1%	6,793	106

資料: 町農務課



当別町産米出荷数量は、平成2年の19,476トン以来、作付面積の減少とともにほぼ3分の1で推移しています。



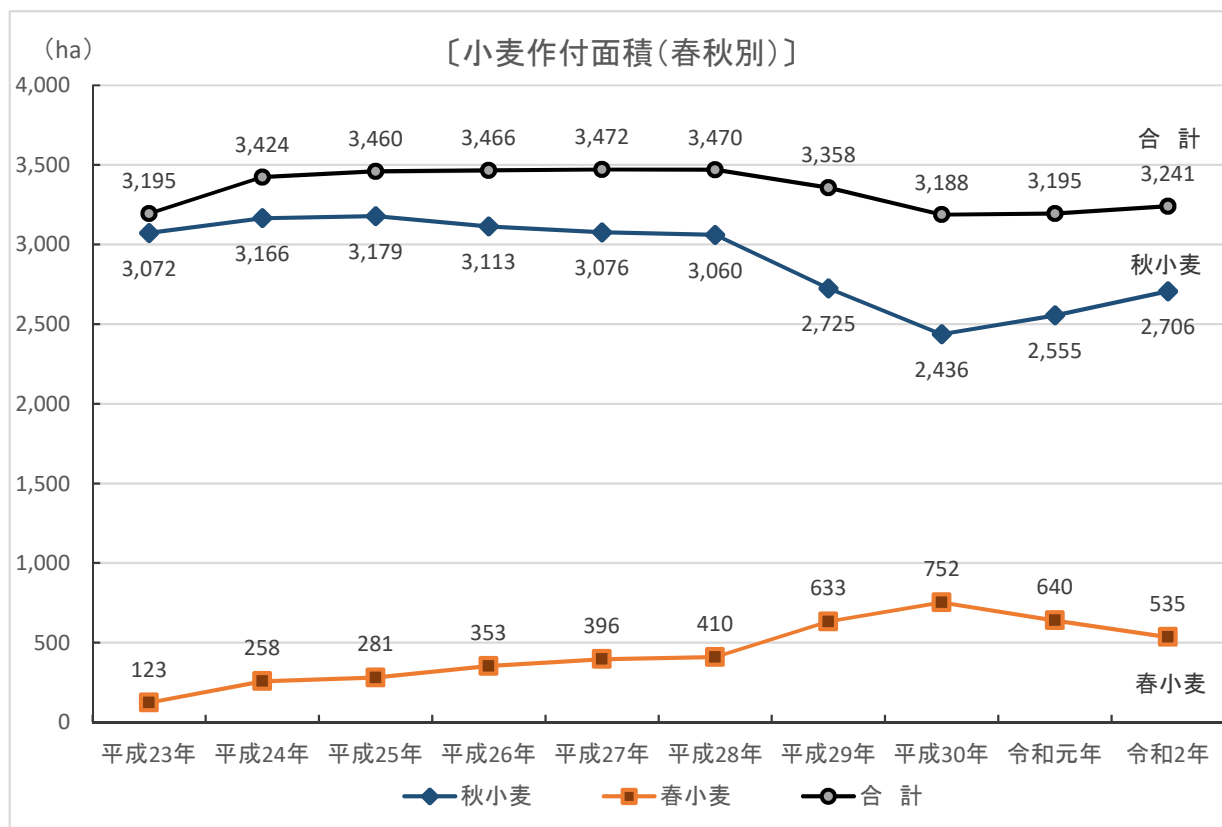
当別町産米の1等米比率は、平成17年産以降ほぼ90%前後で推移しています。

6 小麦作付面積(春秋別)

単位: ha

年産	区分	秋小麦	春小麦	合計
平成23年		3,072	123	3,195
平成24年		3,166	258	3,424
平成25年		3,179	281	3,460
平成26年		3,113	353	3,466
平成27年		3,076	396	3,472
平成28年		3,060	410	3,470
平成29年		2,725	633	3,358
平成30年		2,436	752	3,188
令和元年		2,555	640	3,195
令和2年		2,706	535	3,241

資料: 町農務課



当別町の小麦作付面積は、平成28年から輪作体系推進の取り組みを行い、平成29年30年は一旦減少し、その後増加しています。

7 転作作物(野菜部門)の作付面積

単位:ha

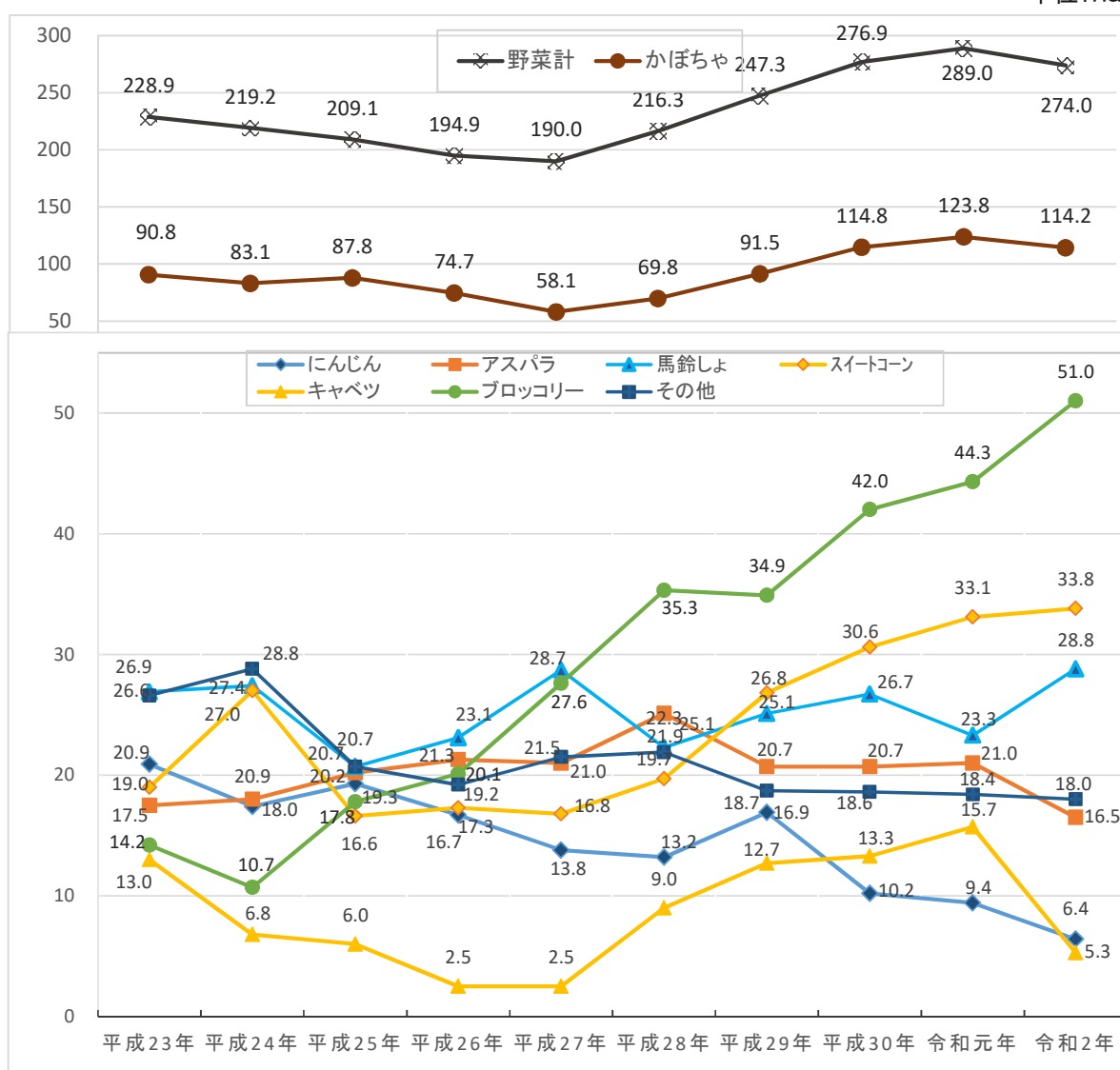
種類	野菜計								
	かぼちゃ	にんじん	アスパラ	馬鈴しょ	スイートコーン	キャベツ	ブロッコリー	その他	その他
平成23年	228.9	90.8	20.9	17.5	26.9	19.0	13.0	14.2	26.6
平成24年	219.2	83.1	17.4	18.0	27.4	27.0	6.8	10.7	28.8
平成25年	209.1	87.8	19.3	20.2	20.7	16.6	6.0	17.8	20.7
平成26年	194.9	74.7	16.7	21.3	23.1	17.3	2.5	20.1	19.2
平成27年	190.0	58.1	13.8	21.0	28.7	16.8	2.5	27.6	21.5
平成28年	216.3	69.8	13.2	25.1	22.3	19.7	9.0	35.3	21.9
平成29年	247.3	91.5	16.9	20.7	25.1	26.8	12.7	34.9	18.7
平成30年	276.9	114.8	10.2	20.7	26.7	30.6	13.3	42.0	18.6
令和元年	289.0	123.8	9.4	21.0	23.3	33.1	15.7	44.3	18.4
令和2年	274.0	114.2	6.4	16.5	28.8	33.8	5.3	51.0	18.0

資料:町農務課

※平成29年度から、スイートコーンに加工用スイートコーンを含む。

〔転作作物(野菜部門)作付面積の推移〕

単位:ha



種別では、馬鈴しょ、ブロッコリー、スイートコーンが増加し、かぼちゃ、にんじん、アスパラ、キャベツが減少しています。

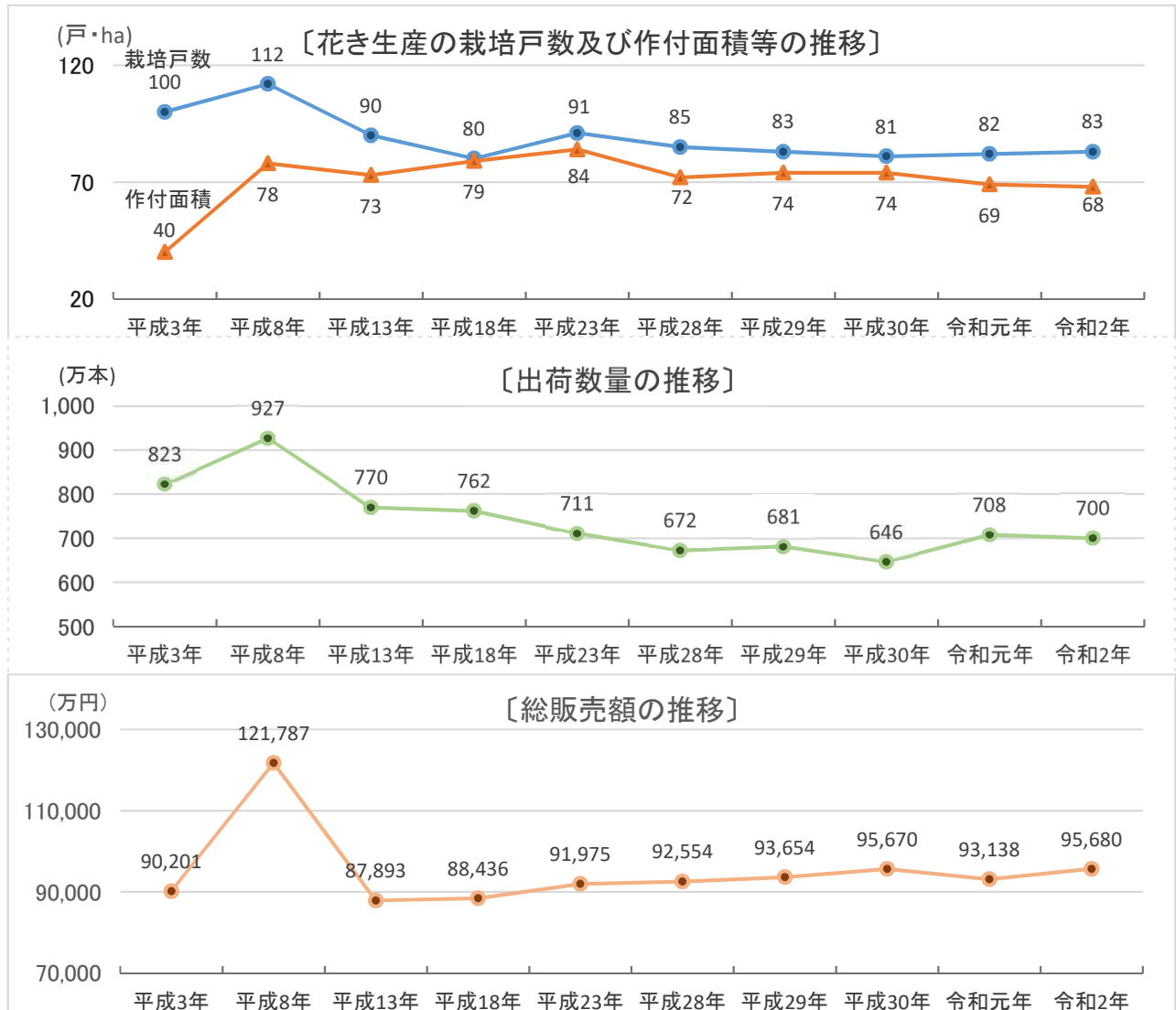
平成29年度よりスイートコーンに加工用スイートコーンを含む。

8 花き生産の概要

区分	年	平成3年	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
栽培戸数(戸)		100	112	90	80	91	85	83	81	82	83
作付面積(ha)		40	78	73	79	84	72	74	74	69	68
出荷数量(万本)		823	927	770	762	711	672	681	646	708	700
総販売額(万円)		90,201	121,787	87,893	88,436	91,975	92,554	93,654	95,670	93,138	95,680

資料: 町農務課

※平成27年から花き作付面積の算定方法が変更となっています。



栽培戸数は、平成28年以降横ばいとなっています。

出荷数量、総販売額ともこの10年間ほぼ横ばいの傾向となっています。

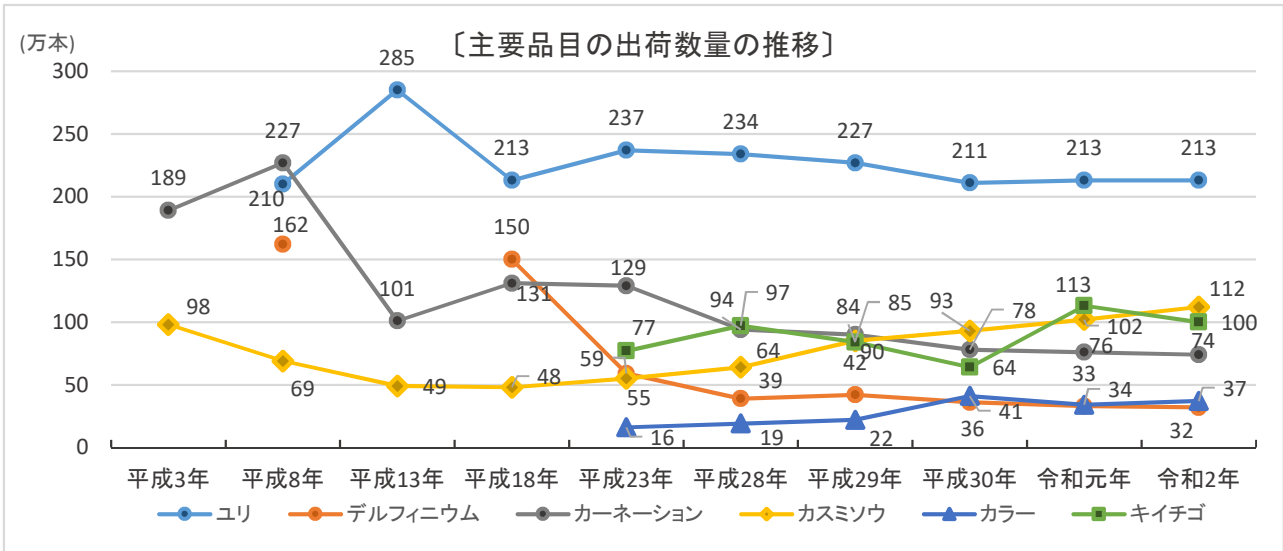
(1) 主要品目の出荷数量

単位: 万本

区分	年	平成3年	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
ユリ			210	285	213	237	234	227	211	213	213
デルフィニウム			162		150	59	39	42	36	33	32
カーネーション		189	227	101	131	129	94	90	78	76	74
カスミソウ		98	69	49	48	55	64	85	93	102	112
カラー						16	19	22	41	34	37
キイチゴ						77	97	84	64	113	100

資料: 町農務課

※空白は、データなし



主要品目のうち、近年カスミソウ、カラーは増加傾向となっています。カーネーション、デルフィニウムは減少傾向となっています。

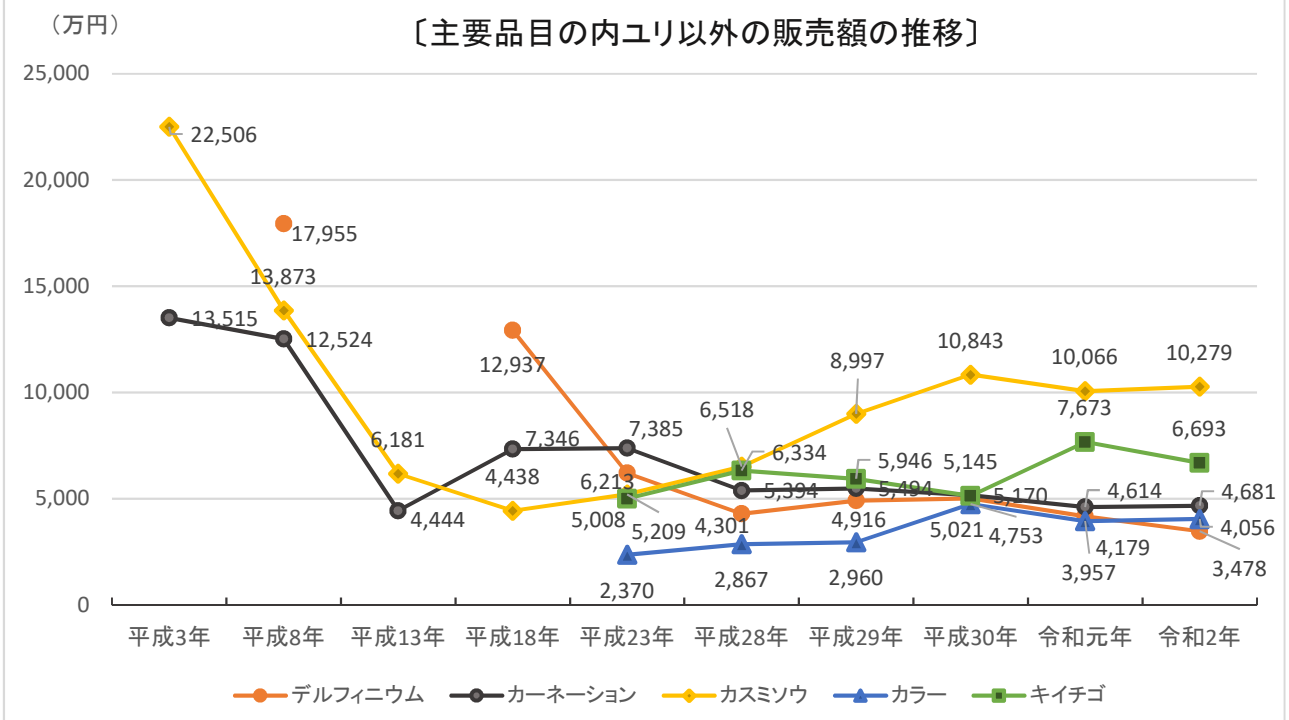
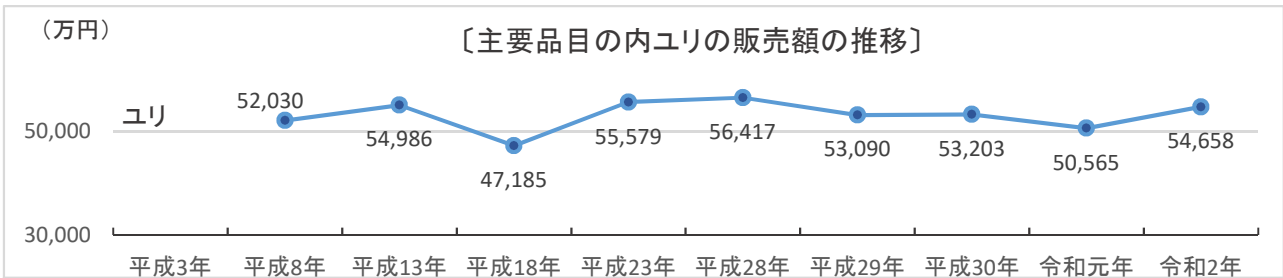
(2) 主要品目の販売額

単位：万円

区分	年	平成3年	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
ユリ			52,030	54,986	47,185	55,579	56,417	53,090	53,203	50,565	54,658
デルフィニウム			17,955		12,937	6,213	4,301	4,916	5,021	4,179	3,478
カーネーション		13,515	12,524	4,444	7,346	7,385	5,394	5,494	5,170	4,614	4,681
カスミソウ		22,506	13,873	6,181	4,438	5,209	6,518	8,997	10,843	10,066	10,279
カラー						2,370	2,867	2,960	4,753	3,957	4,056
キイチゴ						5,008	6,334	5,946	5,145	7,673	6,693

資料：町農務課

※空白は、データなし



ユリの販売額は、平成22年以降5億円以上で推移しています。

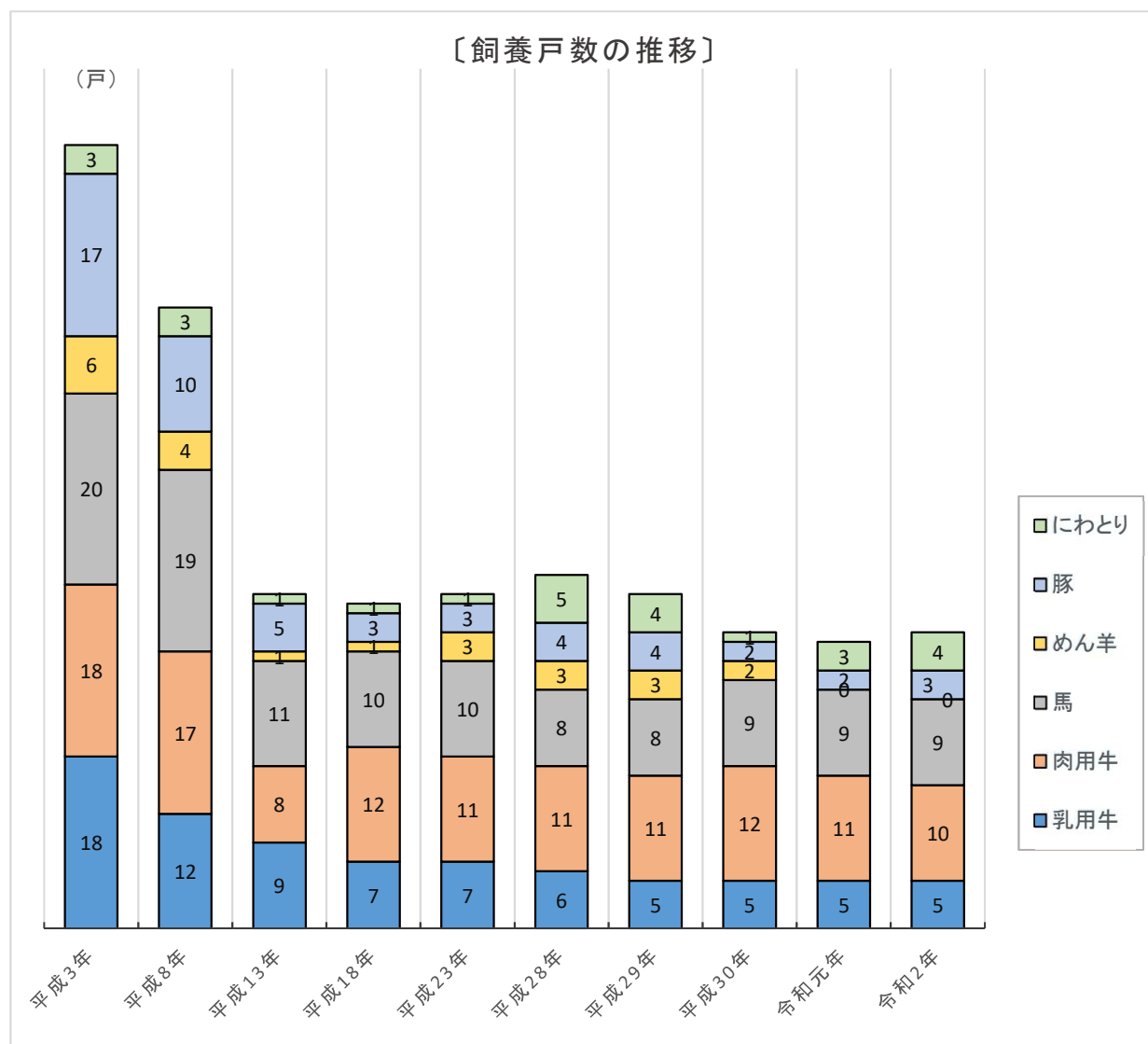
9 家畜飼養状況

(1) 飼養戸数

単位: 戸

年度 区分	平成3年	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
乳用牛	18	12	9	7	7	6	5	5	5	5
肉用牛	18	17	8	12	11	11	11	12	11	10
馬	20	19	11	10	10	8	8	9	9	9
めん羊	6	4	1	1	3	3	3	2	0	0
豚	17	10	5	3	3	4	4	2	2	3
にわとり	3	3	1	1	1	5	4	1	3	4
合計	82	65	35	34	35	37	35	31	30	31

資料: 町農務課



当別町の飼養戸数は、近年40戸弱から、30戸ほどに減少傾向となっています。

乳用牛、肉用牛の飼養戸数は、ここ10年横ばい傾向となっています。

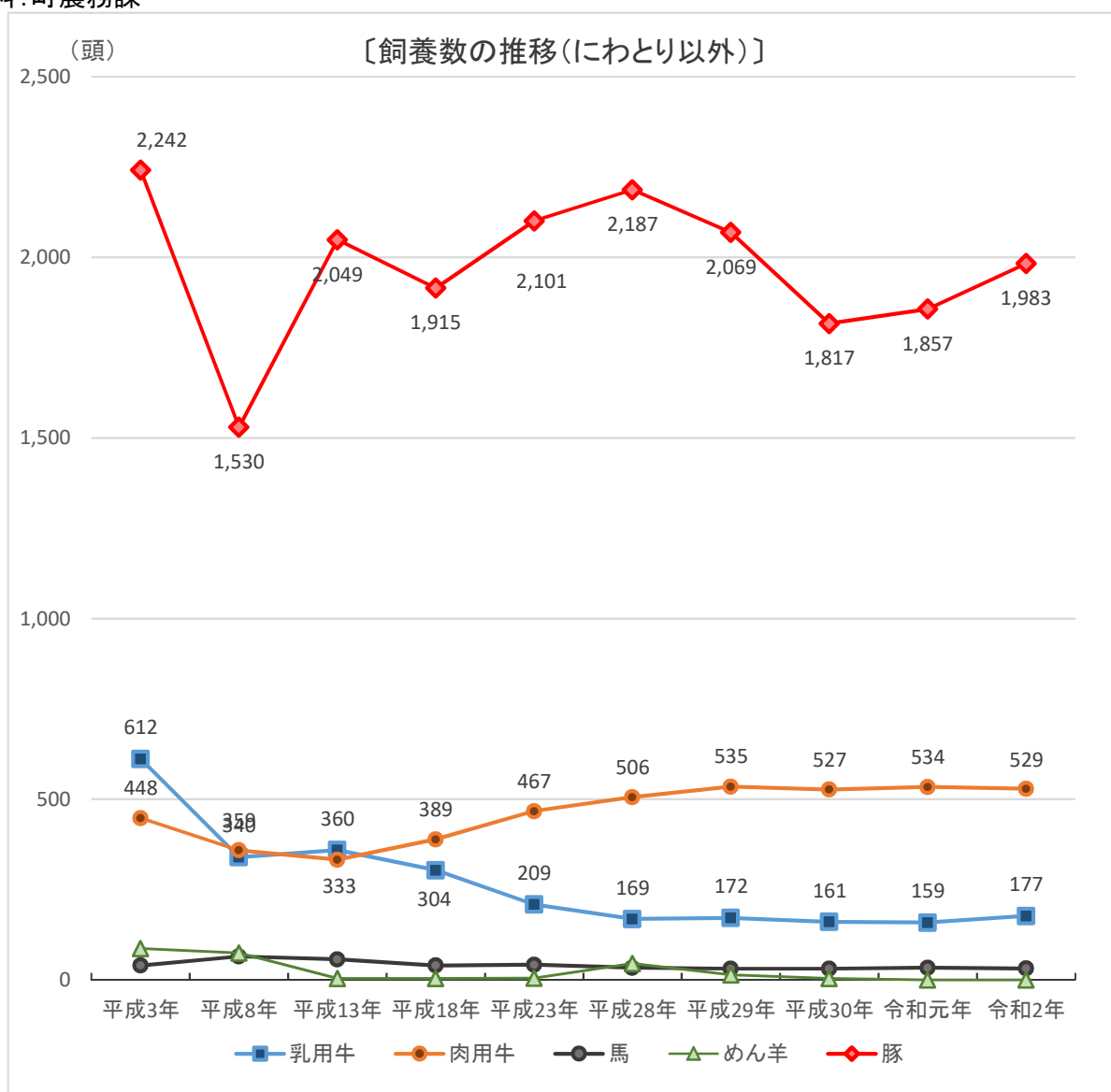
めん羊の飼養戸数は、令和元年からゼロとなっています。

(2) 飼養数

単位:頭・羽

年度 区分	平成3年	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
乳用牛	612	340	360	304	209	169	172	161	159	177
肉用牛	448	359	333	389	467	506	535	527	534	529
馬	40	65	57	40	42	34	31	31	34	32
めん羊	87	75	4	4	5	46	14	4	0	0
豚	2,242	1,530	2,049	1,915	2,101	2,187	2,069	1,817	1,857	1,983
にわとり	23,800	30,710	17,000	15,000	281	68	1,331	2,000	2,506	3,043

資料:町農務課



肉用牛の飼養数は、平成29年からほぼ横ばいとなっています。

豚の飼養数は、近年平成30年を底に増加となっています。

乳用牛の飼養数は、減少傾向から横ばいで推移しています。

10 農業産出額の状況(農林水産省推計値)

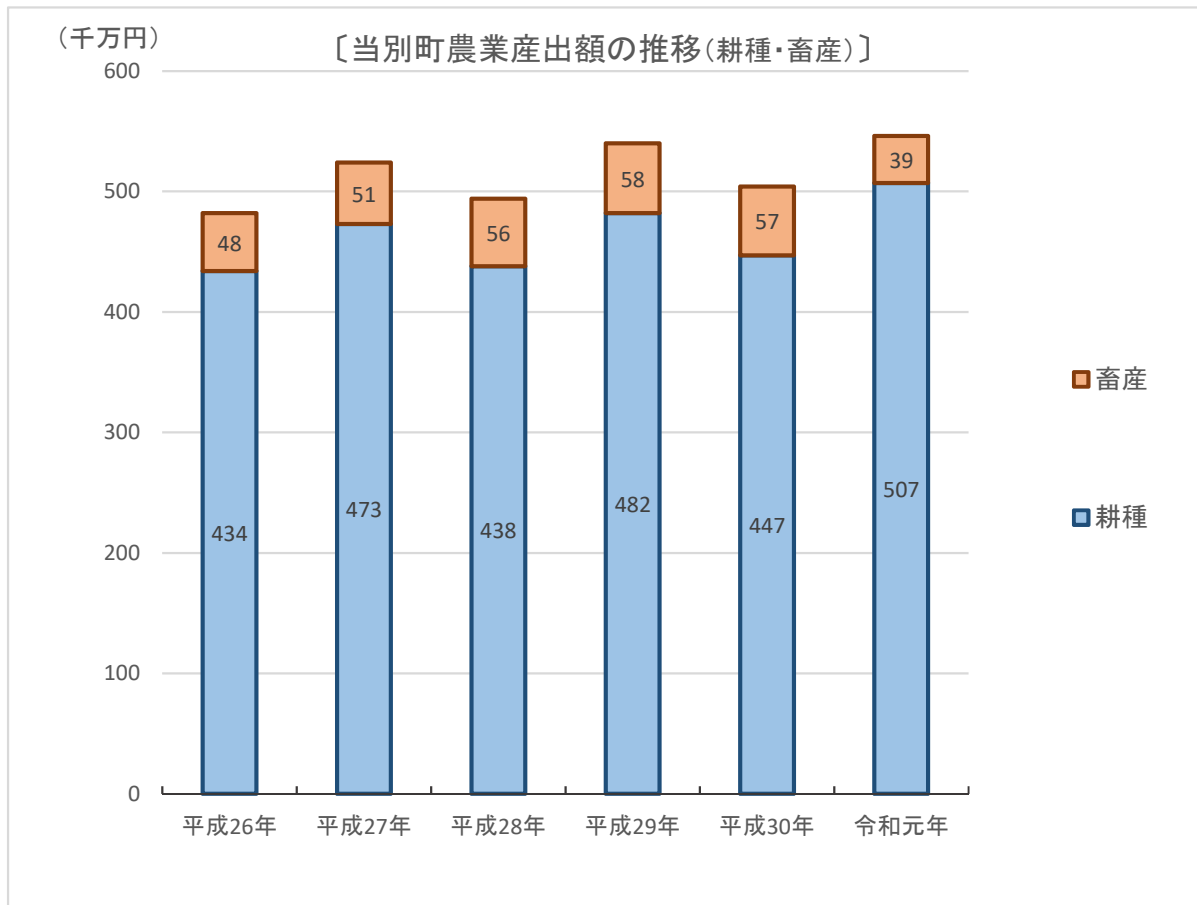
(1) 耕種、畜産、加工農産物

単位:千万円

区分	年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
耕種	米	172	179	180	188	169	183
	麦類	47	69	47	59	45	75
	雑穀	0	0	0	0	0	0
	豆類	27	28	20	29	28	31
	いも類	6	7	8	8	6	5
	野菜	68	75	72	70	75	81
	果実	1	1	1	1	1	1
	花き	106	107	104	118	115	X
	工芸農作物	4	4	3	6	6	6
	その他作物	3	3	3	3	2	X
畜産	肉用牛	11	13	16	16	16	16
	乳用牛	20	22	24	25	25	8
	豚	17	16	16	17	16	16
	鶏	-	-	-	-	-	-
	その他畜産物	-	-	-	-	-	X
合計	482	522	491	539	504	546	

資料:農林水産省

※表示単位未満四捨五入のため、内訳の合計が計と一致しない場合があります。



11 鳥獣被害の状況

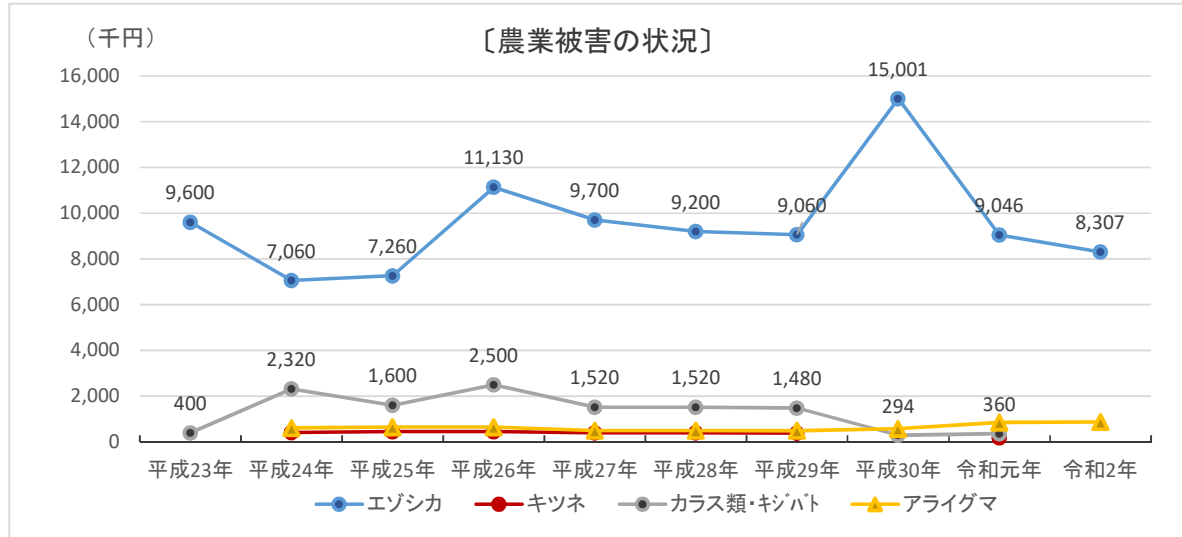
(1) 農業被害の状況

単位：千円

区分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
エゾシカ	9,600	7,060	7,260	11,130	9,700	9,200	9,060	15,001	9,046	8,307
キツネ		410	450	450	400	400	380		184	
カラス類・キジハト	400	2,320	1,600	2,500	1,520	1,520	1,480	294	360	
アライグマ		610	650	650	500	500	490	572	848	874

資料：町農務課

※空白は、確認している被害がありません。



(2) 有害鳥獣の捕獲状況

単位：頭・羽

区分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
エゾシカ	22	63	51	80	122	102	74	63	59	45
キツネ	13	1	8	11	4	3	0	0	0	2
カラス類・キジハト	26	19	15	16	10	0	0	0	0	11

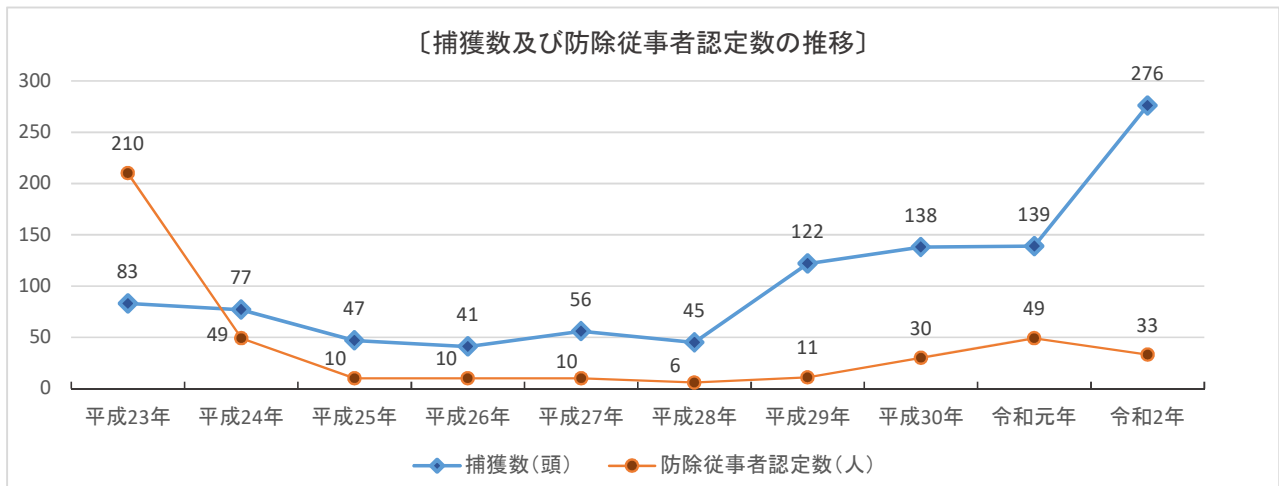
資料：町農務課

※アライグマは、特定外来生物により別掲

(3) アライグマ捕獲数及び特定外来生物防除従事者認定数

区分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	延べ
捕獲数(頭)	83	77	47	41	56	45	122	138	139	276	1,024
防除従事者認定数(人)	210	49	10	10	10	6	11	30	49	33	418

資料：町農務課



当別町のアライグマ捕獲数は、平成29年度以降100頭を超えて以来、令和2年度は、300頭に迫る増加となっています。アライグマ防除従事者認定数は、捕獲数の増加に合わせて増加傾向となっています。

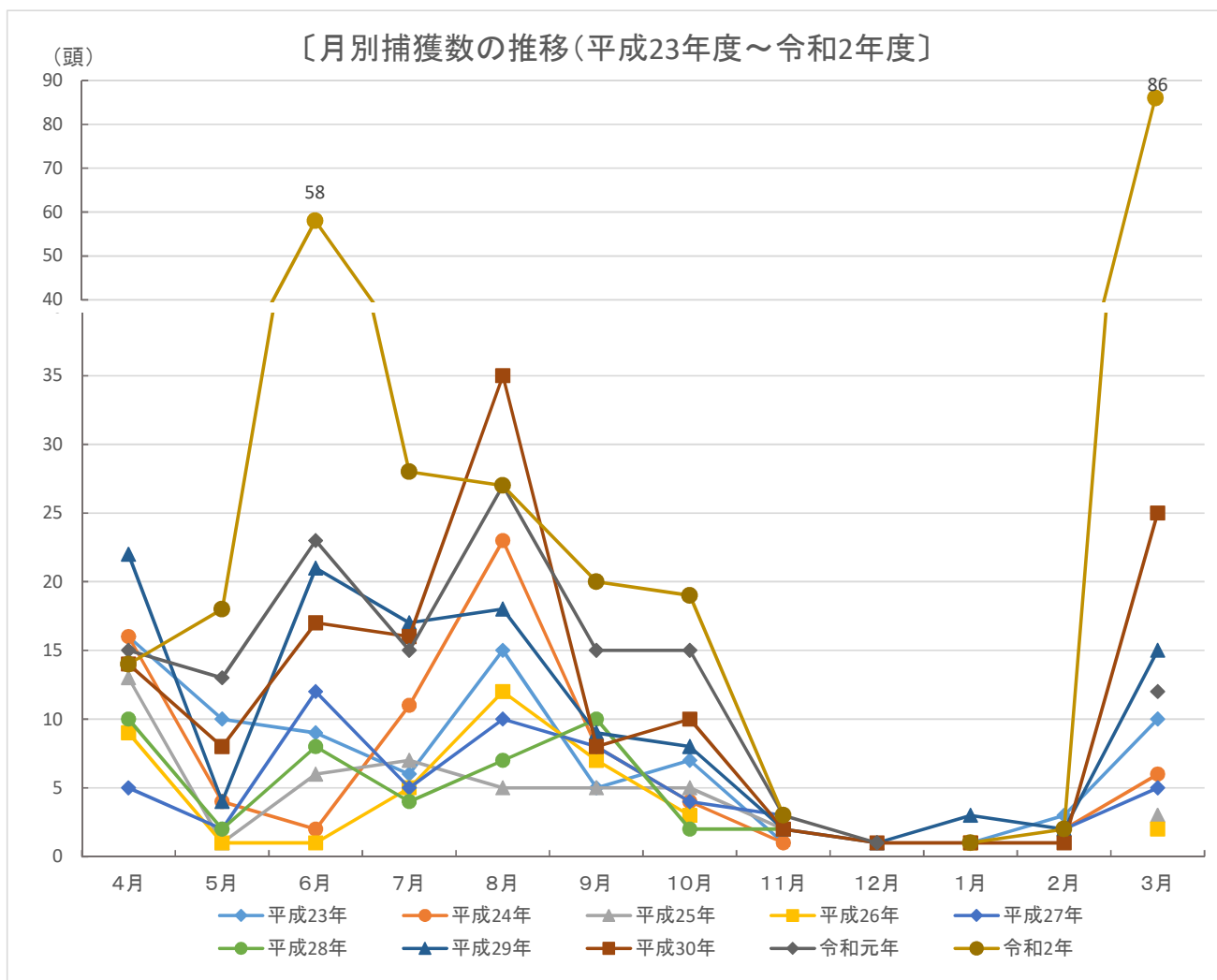
(4)アライグマの月別捕獲数

単位:頭

年度 月	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	合計
4月	16	16	13	9	5	10	22	14	15	14	134
5月	10	4	1	1	2	2	4	8	13	18	63
6月	9	2	6	1	12	8	21	17	23	58	157
7月	6	11	7	5	5	4	17	16	15	28	114
8月	15	23	5	12	10	7	18	35	27	27	179
9月	5	8	5	7	8	10	9	8	15	20	95
10月	7	4	5	3	4	2	8	10	15	19	77
11月	1	1	2		3	2	2	2	3	3	19
12月							1	1	1		3
1月	1			1			3	1		1	7
2月	3	2			2		2	1		2	12
3月	10	6	3	2	5		15	25	12	86	164
計	83	77	47	41	56	45	122	138	139	276	1,024

資料:町農務課

※空白は捕獲なし



月別の捕獲状況は、10年間の累積で8月が一番多く、次いで3月、6月、4月の順となっています。

令和2年度3月は、86頭とこれまでになく突出して多くなっています。

12 民有林資源構成表

単位: ha

区 分		植栽～15年	16年～30年	31年～50年	51年～	無立木地	総 数
人工林	カラマツ	11.57	14.91	4.40	217.79	0	248.67
	針葉樹 トドマツ	138.80	127.86	1,194.57	951.79	0	2,413.02
	その他	79.26	125.42	25.91	15.80	0	246.39
	計	229.63	268.19	1,224.88	1,185.38	0	2,908.08
	広葉樹	54.13	27.54	7.83	8.77	0	98.27
天 然 林		0.13	170.79	937.87	9,258.94	0	10,367.73
立 木 地 計		283.89	466.52	2,170.58	10,453.09	0	13,374.08
合 計		283.89	466.52	2,170.58	10,453.09	310.96	13,685.04

無立木地内訳

区 分		面 積	単位: ha
伐採跡地	天伐跡	30.70	
	人伐跡	37.83	
	計	68.53	
未立木地		242.43	

資料: 令和元年度北海道林業統計 ※令和3年3月現在

13 森林面積及び蓄積

所有区分	面 積 (ha)					蓄 積 (千m ³)		
	計	天然林	人工林	無立木地	その他	計	針葉樹	広葉樹
森林管理局所管国有林	(58) 2,556		(49) 936	—	(9) 89	(7) 320	(4) 166	(3) 155
その他国有林	15	15	—	—	—	0	—	0
道 有 林	10,350	7,395	2,895	60	—	1,288	780	508
市 町 村 有 林	1,507	1,097	400	9	—	206	111	95
私 有 林 等	12,178	9,271	2,606	302	—	1,146	472	674
計	26,606	19,309	6,837	371	89	2,961	1,529	1,432

資料: 令和元年度北海道林業統計

※ 国有林の()は官行造林地で内数である。

※ 単位未満を四捨五入して表示しているため、総数と内数の計が一致しない場合があります。

当別町経済部農務課

〒061 - 0292 北海道石狩郡当別町白樺町 58 番地 9

TEL : (0133) 23 - 2330 (代表)

農務係 (直通) (0133) 23 - 3091 (内線 324・325)

耕地係 (直通) (0133) 23 - 3096 (内線 326)

当別町経済部エネルギー推進室

〒061 - 0292 北海道石狩郡当別町白樺町 58 番地 9

林政係 (直通) (0133) 27 - 5089 (内線 343)